

きつとね!通信

【第28号】新春号
令和5年1月吉日
発行責任者 稲葉 秀一
編 集 宮本 武蔵

米沢のりひさ連合後援会・とかち幸せきつとね会
〒080-0012 帯広市西2条南3丁目20 帯広グランドホテル3階
TEL (0155) 26-7100 / FAX (0155) 26-8858



新年のご挨拶 帯広市長 米沢 則寿

～夢見ることができれば、それは実現できる～

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい希望に満ちた新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

昨年の帯広市長選挙では、皆様の大きな支えとご尽力によりまして、四期目の舵取りを担わせていただくことができました。この紙面をお借りして、改めて感謝とお礼を申し上げます。

さて、瞬く間に世界中に広がり、変異を繰り返しながら、今なお流行を続けている新型コロナウイルスは、私たちの暮らしや経済に大きな影響を与えてきています。

ワクチンの普及や新しい生活様式の取り組みなどにより、ウイズコロナへの転換が図られる中であって、昨年は、平原まつりや十勝マルシェが開催されるなど、徐々にまちに賑わいが戻りつつあると感じております。

また、人口や都市機能が過度に集中する大都市圏を敬遠し、ゆとりある地方へと目を向ける人が増えてきています。コロナを経験したことで、人々は、これまでの暮らしや働き方を振り返り、命や健康の大切さを実感し、人が生きていく上で大切なものは何かということ、自らに問いかけたのではないのでしょうか。

人口の減少や社会の成熟化、グローバル化や技術革新の進展と、SDGsの推進などに、新型コロナウイルスの出現が加わり、今後のまちづくりにおいては、「ウェル・ビーイング（より豊かに生きる）」を重視する視点が一層求められるようになってきています。

この地には、きれいな水や空気、豊かな食や再生可能エネルギーがあり、これらを生み出す雄大な自然環境、都市と農村とが適度に調和した空間、交通の要衝たる地理的特性といった、これからの時代のアドバンテージとも言える資源や特性を持っています。

これらを最大限に活かすことで、十勝・帯広の優位性がさらに増すものと確信しています。

“If you can dream it, you can do it.” 「夢見ることができれば、それは実現できる。」

誰もが知る、ウォルト・ディズニーのあまりに有名な言葉です。

そして、夢を叶える秘訣は、4つの「C」に集約される。それは、「Curiosity-好奇心」「Confidence-自信」「Courage-勇気」そして「Constancy-継続」であると続きます。

その中でも最も大切なのは、自ら進んだ道を信じる「Confidence」であるとも言っています。



帯広市は、昨年、開拓140年・市制施行90年の節目を迎え、私たちは、幾多の苦難を乗り越えながら豊かな田園都市を築いてきた先人に感謝し、その思いを受け継ぎ、更なる発展に向け、挑戦を続けることを誓いました。

十勝・帯広の先人たちの生き様に、ディズニーの4つの「C」が重なって見えるのは私だけでしょうか。新年を迎えるにあたり、全ての市民が、明るい未来を信じて、夢や希望を持って暮らせるよう、私は、一つ一つの課題に真摯に向き合いながら、次の大きな節目を見据え、活力ある地域社会の実現に向けて歩みを進めていく所存であります。

皆様には、十勝・帯広の明るい未来づくりに一層のご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、夢と希望と活力に満ちあふれた一年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

(※この文書は、本年1月4日に開催された帯広市の新年交礼会における米沢市長の年頭挨拶を基に、一部加筆等を行い掲載しました。)



新年のご挨拶

後援会長 稲葉 秀一

新年あけましておめでとうございます。

後援会会員の皆様におかれましては、日頃より、多くのご支援とご協力を賜っていることに、感謝とお礼を申し上げます。

特に昨年の市長選挙におきましては、皆様方に絶大なるご支援を賜り、米沢市長は四選を果たすことができました。重ねて感謝とお礼を申し上げます。

後援会といたしましては、米沢市長が進める各種施策により、十勝・帯広が今以上に輝き、皆様が幸せを感じられるよう、微力ながら市長を支えてまいりたいと存じます。

引続き、皆様方のご多幸と、米沢市長並びに後援会へのご支援、ご協力をお願いし、挨拶といたします。

引き続き、皆様方のご多幸と、米沢市長並びに後援会へのご支援、ご協力をお願いし、挨拶といたします。

昨年、10月13日に「まちづくり報告会」を開催しました。

ご参加いただいた皆様へ感謝とお礼を申し上げます。

米沢市長は、「近況報告」と「フードバレーとまち」を中心に、市長選挙の振り返り、公約に掲げたこれからのまちづくりなどを講演しました。

講演の最後は、ジャフコ時代から親交のあった京セラの創業者、故 稲盛和夫さんの「6つの精進」を紹介し、「環境が悪くても良くても、努力して惜しまないこと。先が見通せない時だからこそ、それを徹底するしかない。この6つの精進、私はこれからもしっかりと胸に秘めていきたい」と結びました。

※講演内容につきましては、後援会ホームページ及びYouTubeのチャンネルで公開していますので、ぜひ、ご覧ください。



(6つの精進 稲盛和夫)

- 誰にも負けない努力をする
- 謙虚にして おごらず
- 反省のある毎日を送る
- 生きていることに感謝する
- 善行、利他行を積む
- 感性的な悩みをしない

「とまち幸せきつとね会」会員拡大のお願い!

市長を支援する資金管理団体「とまち幸せきつとね会」では、多くの皆様にご支援をお願いいたしたく随時会員を募集しています。会員の皆様におかれましては、会員拡大に向けて、知人・友人のご紹介などを賜りたくお願いいたします。

入会の申し込みは、後援会事務所（0155-26-7100）までお問い合わせください。

会員の皆様には、年3,000円以上の会費をお願いしております。

● 後援会から各種広報お知らせ ●

後援会では、会員の皆さまをはじめ、多くの皆さまに、米沢市長の活動、後援会の活動などをお知らせできるよう、「きつとね!通信」のほかに、公式ホームページ、公式フェイスブック、公式YouTubeチャンネルを開設し、広報に努めています。ぜひ、ご覧ください。

◇ホームページ <https://yonezawa-kittone.jp/>

◇フェイスブック <https://www.facebook.com/kittone.yonezawa/>

◇YouTube https://www.youtube.com/channel/UCRx9AtJIPvENx7RP9_ZzCDg

◎ホームページ



◎フェイスブック



◎YouTube

